

4年間の流れ 2025年度(予定)

変更になる場合があります

卒業に必要な単位:124単位

専門教育科目:78単位
 全学共通科目:22単位
 広域選択:24単位

■必修:30単位
 ■選択必修:16単位
 ■選択:32単位

	1年次	2年次	3年次	4年次
成長のプロセス	心理学を理解するための土台となる基礎科目を幅広く学ぶ。	駒澤大学ならではの禅心理学を含むさまざまな分野の心理学を学ぶとともに、実験・研究法などへの理解を深める。	心理学実験演習を通じ、さらに研究スキルの向上を図る。	少人数で行われる演習(ゼミ)に所属し、興味あるテーマについて集中的に学ぶ。
必修	<ul style="list-style-type: none"> 心理学概論I-II [1] 心理学統計法I-II コンピュータ実習I-II [2] 	<ul style="list-style-type: none"> 心理学実験I-II 心理学研究法I-II 禅心理学I [3] 		<ul style="list-style-type: none"> 演習 卒業論文
選択必修	<ul style="list-style-type: none"> 知覚・認知心理学(知覚)・(認知) 感情・人格心理学 学習・言語心理学(学習)・(言語) 社会・集団・家族心理学(家族)・(社会・集団) 	<ul style="list-style-type: none"> 神経・生理心理学 臨床心理学概論 発達心理学概論 教育・学校心理学 	<ul style="list-style-type: none"> 心理学実験演習I~VII(A/B) 	
選択	<ul style="list-style-type: none"> 心理学入門 キャリア教育入門 	<ul style="list-style-type: none"> 禅心理学II 	<ul style="list-style-type: none"> 心理学特殊演習I-II 心理演習(臨床) 	<ul style="list-style-type: none"> 心理実習(臨床)
	<ul style="list-style-type: none"> 障害者福祉 経済原論 	<ul style="list-style-type: none"> 公認心理師の職責 情報処理I-II(A/B) 心理検査法A/B カウンセリング概論 [4] 心理学的支援法 精神疾患とその治療 人体の構造と機能及び疾病 健康・医療心理学 障害者・障害児心理学 比較行動学特講 	<ul style="list-style-type: none"> 発達心理学特講 [6] 宗教心理学特講 産業・組織心理学 司法・犯罪心理学 環境心理学 スポーツ心理学 [5] 行動マネジメント パーソナリティ心理学特講 人工知能I-II 発達臨床心理学 	<ul style="list-style-type: none"> 心理学特講I~III(A/B) 心理的アセスメント 福祉心理学 関係行政論 心理調査法 福祉社会学 歴史社会学 宗教文化論 産業と変動の社会学 雇用と労働の社会学
		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者福祉 行政法A/B 	<ul style="list-style-type: none"> 児童・家庭福祉 労働法 	<ul style="list-style-type: none"> 民法A/B

1 心理学概論

人の心を理解することを目指す心理学。その研究領域は、社会心理学、発達心理学、認知心理学、臨床心理学など多岐にわたります。動画等のメディアを活用しながら、各領域の理解を目指します。

4 カウンセリング概論

カウンセリングは対人支援の方法の一つです。その理論や技法について学ぶとともに、人間理解の基礎知識の習得を目指します。

2 コンピュータ実習

心理学研究においてはコンピュータの活用が必須。文書作成、プレゼンテーション、表計算、統計処理ソフトを使ったデータ解析について学び、課題を通して知識と技術を定着させます。

5 スポーツ心理学

スポーツ心理学とは、スポーツに関する心理学的な諸問題について研究する学問領域のこと。この講義では、スポーツ心理学の理論とその実践的な利用法について学ぶことを目的とします。

3 禅心理学

心理療法やカウンセリングと同様に、坐禅には緊張を緩和し回復力を高める効果が明らかにされています。禅がもたらす心理作用を知り、禅思想を心理学的な観点から考察します。

6 発達心理学特講

乳児、幼児、児童、青年、成人から高齢期へ、人は生涯を通じて発達し続けます。発達段階に応じた心理的特徴をとらえ、それぞれの時期に必要な課題を見極めることで、生涯にわたる心の変化を理解します。

卒業論文テーマ・研究課題例

- 日常生活で感じる気まずさや性格特性との関連
- ヒトはポイント還元と割引どちらを好むのか
—並立連鎖スケジュールを用いた模擬的選択場面による検討—
- 他者への一般的信頼と人間関係における依存欲求との関連
- Unreal Engineで制作したVRCGの感情効果の検証
- 音楽聴取中の内的思考がもたらす脳波活動の特徴

私の

1 Week Schedule [2年次]

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
前期	1	心理学研究法I	心理検査法A			
	2		日本文学を学ぶ(3)	日本の詩歌を学ぶ(1)		
	3	心理学特講IA	心理学実験I	神経・生理心理学	社会集団・家族心理学(家族)	
	4	カウンセリング概論		現代文明と哲学(1)	英語IIAa	
	5			禅心理学I	人体の構造と機能及び疾病	
	6					
後期	1	心理学研究法II	心理的アセスメント			
	2		日本文学を学ぶ(4)	日本の詩歌を学ぶ(2)	自然科学へのいざない	
	3	心理学特講IB	心理学実験II		社会集団・家族心理学(社会集団)	
	4	健康・医療心理学		現代文明と哲学(2)	英語IIAb	
	5				精神疾患とその治療	
	6					

履修のポイント

「臨床心理学概論」では、現代の臨床心理学の基礎を築いたと言っても過言ではない3人の人物を中心に取り上げていきます。特にアドラー心理学の考え方が私にとって新鮮で興味深く、履修して良かったと実感しています。

学びから得たこと

「質的研究」におけるインタビュー経験を通じて、話の聞き手として成長したと実感しています。しぐさや表情、相槌を相手との対話内容や状況に応じて合わせられるようになりました。また、友人だけでなく目上の方との対話時にも実践できるようになりました。

Message

始まりは好奇心から。心理学を日常に活かしていきたい。

心理学の学びとして注目していることは、インタビューを通じて対象者の発言内容や個人の体験の意味を掘り下げて分析を行う「質的研究」です。この研究は学べば学ぶほど奥が深く、人の心や人間関係のありようなどを理解する力やテクニックが身についたと思います。「心理学って面白そう」という好奇心から入学を決めた心理学科ですが、先入観にとらわれない視野の広さが培われ、結果を客観的に判断する能力を養うことができました。将来は、学んだことを日常生活において幅広く活かしていきたいと思っています。

橋 駿輔さん
 心理学科 4年
 千葉県立千葉南高等学校 出身

